

平成21年度第1回射水市協働のまちづくり推進会議会議概要

□開催日時

平成21年7月28日(火) 午後1時27分～午後2時36分

□開催場所

射水市役所小杉庁舎3階 301会議室

□出席委員

大泉征夫委員、大嶋詳一委員、奥田實委員、木村加代子委員、島田重太郎委員、竹内一人委員、野村弘和委員、堀田紀子委員、山口花子委員
(委員10人中9人出席)

□事務局

宮川忠男副市長、竹内直樹市長公室長、肥田幸裕市長公室次長、島木康太市民協働課長、杉浦実市民協働課主幹、原宗之市民協働課課長補佐、作道賢次市民協働課主任、高橋努市民協働課主任、吉田大樹市民協働課主任

□会議概要

1 開会

2 議事

(1) 市民協働の取組状況等について

委員 全課対象とした地域型市民協働事業の掘り起しについて、調査結果が形として残っているのか。

事務局 今年度については、現在38項目挙がってきているが、提案してきた課に偏りがあり、まだまだ少ないということで再調査を行っている。必要に応じてヒアリングを実施し、地域振興会と協議していく予定である。

委員 事業の掘り起しについては、職員だけではなく民間の人を入れて調査するつもりはないのか。民間へ委託する、市民協働で実施する、廃止するなどの事業の見直しを行った方がいいのではないのか。

事務局 今は職員に協働できる事業はないかと投げかけている段階であるが、事業の見直しの必要性は感じている。事業見直しの実施には、もう少し時間をいただきたい。

委員 地域型市民協働事業は始まったばかりで、まだ浸透していない部分があると思う。いずれ協働事業の効果をチェックする体制が必要になってくると思うので、今後検討していただきたい。

(2) 地域型市民協働事業について

委員 地域振興会へ公民館事業を委託する前後で、公民館の人件費総額は変わっていないのか。

事務局 総額は変わっていない。雇用が教育委員会から地域振興会に変わっただけである。

委員 地域振興会の役割の一つである「地域課題を解決する自主的な地域づくり事業の実施」については、地域型市民協働事業の特色になる部分だと思うが、なかなか決まらないのが実情である。もっと市民協働課からどうすべきか事例等を示していただきたい。

事務局 同様の話はいくつか聞いている。自主事業については地域の事情によって異なってくるものであり、今後、地域振興会を回った際に個別に相談させていただきたい。

委員 モデル地区地域振興会の実績報告について、住民運動会が入っているところと入っていないところがあるが、バラバラでいいのか。

事務局 地域振興会がスタートしたばかりであり、また、地域にあったやり方で実施してほしいといっているので、なかなか市から指導することはできない。今後、状況を見ながら進めていきたい。

(3) 公募提案型市民協働事業について

委員 平成21年度の採択事業については、まだ3ヶ月ほどだが、どのような状況なのか。特に、「射水かるた」の製作・普及は、審査委員から1年でできるのかという意見があったが、どうなったのか。

事務局 射水かるた実行委員会とは事前に協議をし、1年間で作成することになった。6月末までにかかるたの題材と読み札を募集し、応募が予想以上にあって選考作業が大変だという話を聞いているが、期待できるのではないかと考えている。

委員 平成20年度の事業が今年度も継続したということで、年々予算が増えていくのか。

事務局 この事業の当初の目的の一つに、NPO法人やボランティア団体の自立がある。継続は3年間を限度としており、永久に増えていくわけではない。

(4) (仮称)コミュニティセンターの設置について

委員 公民館法に沿った施設としてコミュニティセンターという愛称を使うということなのか。

事務局 法律にとらわれない施設と考えていただきたい。従来の公民館は社会教育法の規定に基づいて施設の運営、管理を行っている。コミュニティセンターは、これらを踏まえて機能を拡充していくものである。

委員 現在の市立公民館の数と地域振興会の数は合致するのか。

事務局 同じである。

委員 コミュニティセンターの機能として「交流の場」が挙げられているが、一人暮らし老人等が集う場としてもぜひ拡げていってほしい。

事務局 コミュニティセンターについては、これまでの公民館活動を含めて地域活動の場にしていきたいと考えているので、今まで以上に利用していただきたい。

委員 今年度は委託料として公民館事業の27万円が支払われているが、公民館条例が廃止されれば交付金として一緒に交付されることになるのか。生涯学習の場でもあるということをお忘れのためにも交付金とは別にいただきたい。

事務局 公民館事業の27万円については、教育委員会から交付金とは別にしてもほしいと申し入れがあった。今後も交付金とは別に委託料として支払うことになると思う。

3 その他

委員 協働事業の実績報告も必要だが、ぜひ協働事業の評価（地域の活性化、事業の効果、効率性）も行っていただきたい。

次回の射水市協働のまちづくり推進会議の日程について

日時 平成22年1月下旬

4 閉会

配布資料

会議次第、議題に関する資料

会議の公開又は非公開

公開